

オーロラⅡ (トルコ投資ファンド)

運用報告書(全体版)

第23期(決算日2019年7月11日)

作成対象期間(2018年7月12日～2019年7月11日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	1996年9月12日から2021年7月12日までです。
運 用 方 針	信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行います。
主な投資対象	トルコの企業の株式(DR(預託証書)を含みます。)を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益等から基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近５期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		参 考 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 証 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	中 率	期 騰 落 中 率				
	円	円	%	%	%	%	%	百万円	
19期(2015年7月13日)	16,295	320	1.7	1.2	96.0	—	4.0	3,192	
20期(2016年7月11日)	11,802	120	△26.8	△28.5	94.2	—	4.2	2,017	
21期(2017年7月11日)	13,352	200	14.8	17.8	96.6	—	1.9	3,379	
22期(2018年7月11日)	9,504	0	△28.8	△29.2	96.9	—	—	2,713	
23期(2019年7月11日)	8,268	0	△13.0	△17.3	94.3	—	—	2,162	

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*参考指数はBIST100指数（円換算ベース）です。
 *参考指数（＝BIST100指数（円換算ベース））は、BIST100指数（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日のトルコリラ為替レート（対顧客電信売買相場仲
 値）で円換算しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

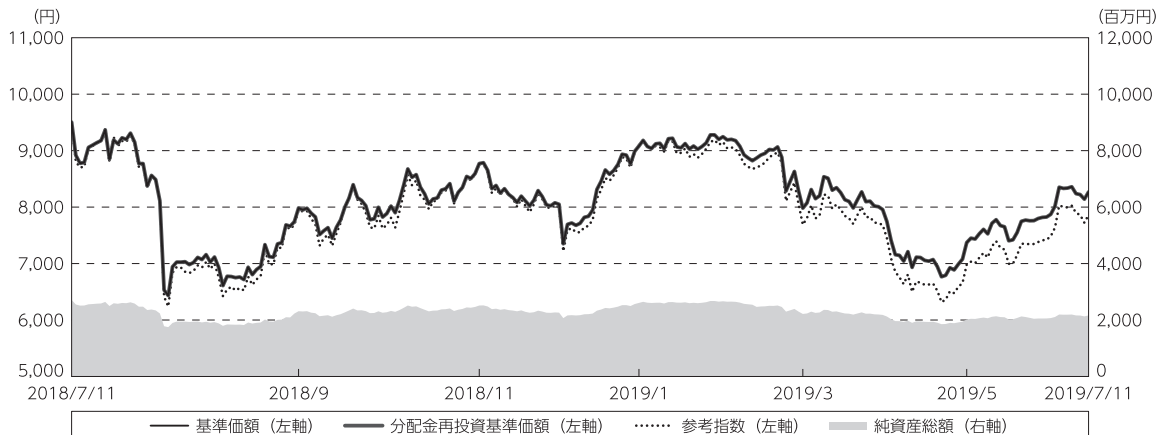
年 月 日	基 準	価 額	参 考 指 数	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2018年 7 月11日	円 9,504	% —	% —	% 96.9	% —	% —
7 月末	9,198	△ 3.2	△ 3.6	95.6	—	—
8 月末	6,609	△30.5	△32.4	93.3	—	—
9 月末	7,983	△16.0	△16.4	94.3	—	—
10月末	8,018	△15.6	△17.8	96.8	—	—
11月末	8,771	△ 7.7	△ 7.8	97.5	—	—
12月末	8,049	△15.3	△15.9	98.1	—	—
2019年 1 月末	9,082	△ 4.4	△ 4.3	98.0	—	—
2 月末	9,200	△ 3.2	△ 4.2	98.8	—	—
3 月末	7,981	△16.0	△19.1	96.6	—	—
4 月末	7,745	△18.5	△21.6	97.1	—	—
5 月末	7,372	△22.4	△26.5	96.3	—	—
6 月末	7,872	△17.2	△21.3	94.7	—	—
(期 末) 2019年 7 月11日	8,268	△13.0	△17.3	94.3	—	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：9,504円

期 末：8,268円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△13.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2018年7月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）参考指数は、BIST100指数（円換算ベース）です。参考指数は、作成期首（2018年7月11日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- （下 落）トルコのエルドアン大統領が財務相に娘婿を起用し、同国の経済政策運営への懸念が強まったこと、米国人牧師の長期拘束を巡り対米関係悪化の懸念が高まったこと、トルコ中央銀行の利上げへの消極的な姿勢や経済政策への不信を受けトルコ・リラが対円で急落（円高）したこと
- （上 昇）トルコ中央銀行の市場予想を上回る大幅な利上げを受けトルコ・リラが対円で上昇（円安）したこと、国内大手銀行が外貨建て債務の借り換えに成功したこと、大手企業が底堅い決算を発表したこと、米国の追加利上げ懸念が後退したこと
- （下 落）世界景気の減速懸念が高まったこと、外貨準備高の減少やトルコ中央銀行への高まる不信を背景にトルコ・リラが対円で下落したこと、野党が勝利したイスタンブール市長選がやり直しとなったこと、トルコ政府のロシア製ミサイル購入計画に伴う米国による経済制裁リスクが懸念されたこと

○投資環境

期初、エルドアン大統領が経済政策の司令塔となる財務相に娘婿を起用したことで、経済政策運営への懸念が高まり、トルコ株式市場は下落して始まりました。また、トランプ米政権が米国人牧師の長期拘束に抗議する形でトルコの閣僚2人に経済制裁を科し、対米関係の悪化が懸念されました。こうした環境でトルコ・リラが売られ、株式市場も下落しました。その後、トルコ中央銀行による政策金利の大幅な引き上げや、大手銀行が大幅な資金調達コストの上昇を避けて外貨建て借入の借り換えに成功したことなどから一時的に上昇しましたが、国内景気の落ち込みや米中貿易摩擦を受けたグローバル景気減速懸念から再び下落基調となりました。

2019年に入ると、米国経済も減速し、米国の追加利上げ懸念が後退したことで、新興国株式全体と共にトルコ株式市場も上昇しました。トルコ株式の割安なバリュエーション（投資価値評価）が見直され、海外からの資金流入も相場を押し上げました。国内景気の急減速にもかかわらず、大手企業の2018年度の決算発表が概ね底堅い内容となりました。しかしその後、外貨準備高の減少をきっかけとしたトルコ・リラの下落、野党が勝利したイスタンブール市長選のやり直し決定、トルコ政府のロシア製ミサイル購入計画に伴う米国による経済制裁リスクなどが重石となり、トルコ株式市場は再び下落に転じました。

しかし、期末にかけては、FRB（米連邦準備制度理事会）が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどを追い風にトルコ株式市場も反発し、当期においてトルコ株式市場は、現地通貨ベースで見て上昇となりました。

為替市場では、期初、経済政策運営が懸念される中、2018年7月にトルコ中央銀行が政策金利を引き上げるとの市場予想に反して据え置きとしたことなどから、トルコ・リラは下落して始まりました。その後も、トルコの閣僚への経済制裁で対米関係悪化の懸念が高まったことに加え、トルコ中央銀行の利上げに対する消極的な姿勢や具体性に欠ける新財務相の中期経済計画などから同国の経済政策運営への不信が高まり、トルコ・リラの下落は一段と加速しました。2018年9月には、不安定な為替市場を背景にトルコ中央銀行が政策金利を大幅に引き上げ24%とすると、トルコ・リラは上昇に転じました。貿易収支や経常収支の改善もトルコ・リラの安定に寄与しました。しかし、2019年3月にトルコの外貨準備高の減少が発表されると、トルコ・リラは再び下落に転じました。当局は海外市場の流動性を著しく低下させ、トルコ・リラの上昇を狙いましたが、こうした短期的な対策が問題視され、トルコ中央銀行への不信が再び高まりました。期末にかけても、政府が任期途中のトルコ中央銀行総裁を解任し、金融政策の独立性が損なわれることが懸念されました。当期においてトルコ・リラは対円で大幅に下落しました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

原則として高位を維持するという運用方針に基づいて運用を行ない、組入比率はおおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 業種別では、期初においては、一般消費財・サービス、電気通信サービスなどをオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）とし、資本財・サービス、不動産などをアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）としました。期末においては、一般消費財・サービス、情報技術などをオーバーウェイトとし、資本財・サービス、素材などをアンダーウェイトとしました。
- (2) 個別銘柄では、アクバンク、BIMビシュレジッキ・マーザラージ、ガランティ銀行などを上位に組み入れました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数（BIST100指数（円換算ベース））が17.3%の下落となったのに対して、基準価額は13.0%の下落となりました。

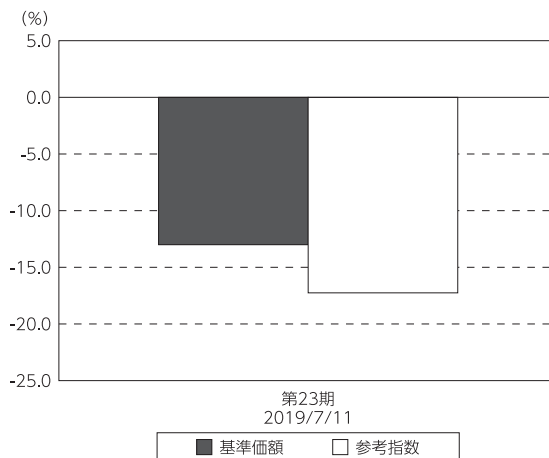
(主なプラス要因)

- ①業種配分で、株価騰落率が参考指数を下回った素材や不動産をアンダーウェイトとしたことや、株価騰落率が参考指数を上回った一般消費財・サービスをオーバーウェイトとしたこと
- ②個別銘柄で、株価騰落率が参考指数を上回った自動車部品株をオーバーウェイトとしたことや、株価騰落率が参考指数を下回った航空宇宙・防衛株をアンダーウェイトとしたこと

(主なマイナス要因)

- ①業種配分で、株価騰落率が参考指数を上回った金融をアンダーウェイトとしたこと
- ②個別銘柄で、株価騰落率が参考指数を下回った消費者サービス株をオーバーウェイトとしたことや、株価騰落率が参考指数を上回った銀行株をアンダーウェイトとしたこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、BIST100指数（円換算ベース）です。

◎分配金

基準価額水準などを勘案して、大変遺憾ながら今期の収益分配は見送らせていただきました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1 万口当たり・税込み）

項 目	第23期
	2018年7月12日～ 2019年7月11日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	8,112

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

・投資環境

- (1) トルコ経済については、インフレ率が低下する中で、大幅な利下げが可能となり、設備投資や個人消費への刺激が期待されています。しかし、トルコ中央銀行総裁の解任を受け金融政策への信頼性は再び低下しており、利下げによってトルコ・リラが不安定とならないかに注意していく必要があります。一方、政治においては、イスタンブール市長選の再選挙が終了し、2023年まで主だった選挙は予定されておらず、経済改革を実施する良いチャンスとなっています。また、G20（20カ国・地域首脳会議）でのエルドアン大統領とトランプ米大統領との会談を受けて、トルコのロシア製ミサイル購入計画に対する米国の経済制裁リスクは低下しました。しかし、問題の解決には至っておらず、引き続き対米関係の動向に注視していきます。
- (2) トルコ株式市場については、経済政策の不確実性や地政学的リスクが重石となり、株価バリュエーションが極めて割安な水準にあると考えています。米国との関係に更なる改善がみられ、経済政策運営への懸念が後退すれば、株価が上昇する余地はあると考えられます。

・投資方針

業種別では、中長期的なトルコの経済成長の恩恵を受けるとみられる一般消費財・サービスのオーバーウェイトを引き続き維持する方針です。

個別銘柄については、競争力のあるビジネスモデルや独自の成長要因を有し、景気先行きへの不透明感が強い局面においても比較的安定した収益の成長が見込まれる銘柄に選別的に投資する考えです。

今後も基準価額の向上に努めて参りますので、引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2018年 7 月12日～2019年 7 月11日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 178	% 2.182	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 85）	（1.048）	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	（ 84）	（1.026）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	（ 9）	（0.108）	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.039	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	（ 3）	（0.039）	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	（ 0）	（0.000）	
(d) そ の 他 費 用	19	0.235	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 19）	（0.232）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0）	（0.003）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	（ 0）	（0.000）	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	200	2.456	
期中の平均基準価額は、8,156円です。			

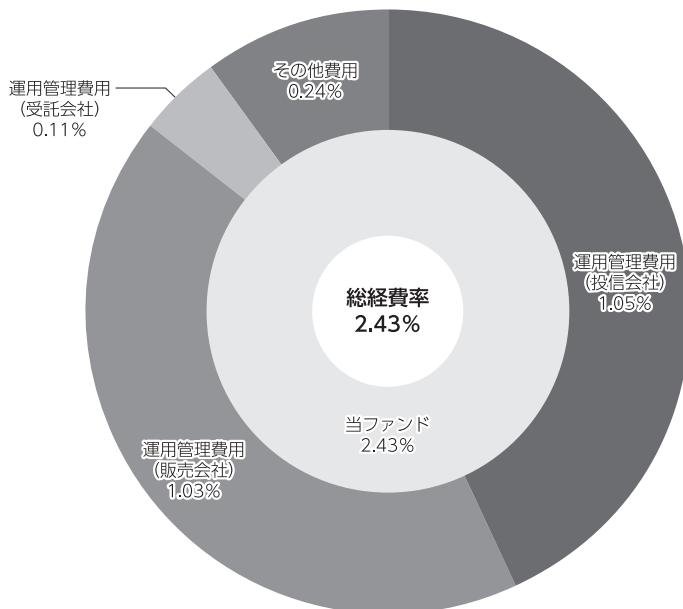
* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）**○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.43%です。



(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年7月12日～2019年7月11日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	イギリス	百株 383	千英ポンド 47	百株 275	千英ポンド 60
	トルコ	37,462 (14,614)	千トルコリラ 34,907 (1,922)	50,011 (10,943)	千トルコリラ 46,078 (1,101)

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年7月12日～2019年7月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,559,103千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,211,172千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.70

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年7月12日～2019年7月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2019年7月11日現在）

外国株式

銘柄	株数	金額	当期		業種等
			株数	金額	
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円	
GLOBAL PORTS HOLDING PLC	411	322	121	16,384	運送インフラ
DP EURASIA NV	1,442	1,639	144	19,527	ホテル・レストラン・レジャー
小計	株数・金額	1,854	1,961	265	35,912
銘柄数＜比率＞	2	2	—	<1.7%＞	
(トルコ)	株数	株数	千トルコリラ		
AKBANK T.A.S	14,958	15,136	11,397	216,900	銀行
AKSA AKRILIK KIMYA SANAYII	1,154	1,128	994	18,933	繊維・アパレル・贅沢品
AKSIGORTA	3,364	4,207	1,809	34,425	保険
ALARKO CARRIER SANAYI VE TICARET AS	257	215	765	14,565	機械
ANADOLU HAYAT EMEKLILIK	1,991	1,609	777	14,789	保険
ARCELIK A.S	1,619	1,771	3,470	66,045	家庭用耐久財
AYGAZ AS	670	964	840	15,997	ガス
BRISA BRIDGESTONE SABANCI LASTIK SAN VE	4,110	2,055	1,217	23,159	自動車部品
CIMSA CIMENTO SANAYI VE TIC	2,443	1,386	873	16,625	建設資材
EREGLI DEMIR VE CELIK FABRIK	8,294	5,562	3,999	76,112	金属・鉱業
FORD OTOMOTIVE SANAYI AS	823	795	4,806	91,461	自動車
INDEKS BILGISAYAR SIS TEMLERI MUHENDISLI	1,525	1,785	1,244	23,677	電子装置・機器・部品
KOC HLDGS	1,411	3,724	6,674	127,022	コングロマリット
KORDSA TEKNIK TEKSTIL A.S.	4,546	2,382	2,847	54,188	自動車部品
LOGO YAZILIM SANAYI VE TICAR	310	219	911	17,352	ソフトウェア
PETKIM PETROKIMYA HOLDING AS	1,687	—	—	—	化学
SODA SANAYII	9,896	5,069	3,107	59,139	化学
TOFAS TURK OTOMOBIL FABRIKA	1,131	1,839	3,440	65,471	自動車
TRAKYA CAM SANAYII AS	—	4,978	1,378	26,241	建設関連製品
TURK TUBORG BIRA VE MALT SANAYII A.S.	1,228	1,362	1,057	20,121	飲料
TURK HAVA YOLLARI AO	1,390	1,112	1,377	26,211	旅客航空輸送業
TURKCELL ILETISIM HIZMET AS	8,986	5,933	7,791	148,265	無線通信サービス
TURKIYE GARANTI BANKASI	9,884	8,426	8,257	157,139	銀行
TURKIYE IS BANKASI AS-C	9,087	3,105	2,012	38,294	銀行
TUPRAS-TURKIYE PETROL RAFINE	750	603	7,059	134,350	石油・ガス・消耗燃料
YAPI VE KREDI BANKASI A.S.	—	6,409	1,653	31,466	銀行
HACI OMER SABANCI HOLDING	5,944	5,521	5,068	96,454	各種金融サービス
COCA-COLA ICECEK AS	1,060	1,554	5,128	97,589	飲料
BIM BIRLESIK MAGAZALAR AS	734	1,026	9,034	171,920	食品・生活必需品小売り
TAV HAVALIMANLARI HOLDING AS	1,287	1,073	2,686	51,115	運送インフラ
TEKFEN HOLDING AS	600	330	807	15,360	建設・土木
LOKMAN HEKIM ENGURUSAG SAGLI	585	693	262	4,998	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
MIGROS TICARET A.S	676	—	—	—	食品・生活必需品小売り
MAVI GIYIM SANAYI VE TICA-B	—	373	1,555	29,599	繊維・アパレル・贅沢品
AVIVASA EMEKLILIK VE HAYAT A	—	1,175	1,026	19,531	保険
小計	株数・金額	102,409	93,532	105,335	2,004,528
銘柄数＜比率＞	31	33	—	<92.7%＞	
合計	株数・金額	104,264	95,494	—	2,040,441
銘柄数＜比率＞	33	35	—	<94.3%＞	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2019年7月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	2,040,441	92.9
コール・ローン等、その他	156,223	7.1
投資信託財産総額	2,196,664	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（2,066,289千円）の投資信託財産総額（2,196,664千円）に対する比率は94.1%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.20円、1英ポンド=135.38円、1トルコリラ=19.03円、1ユーロ=121.83円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,219,473,245
コール・ローン等	156,223,802
株式(評価額)	2,040,441,043
未収入金	22,808,400
(B) 負債	56,549,793
未払金	22,812,000
未払解約金	9,052,695
未払信託報酬	24,648,274
未払利息	276
その他未払費用	36,548
(C) 純資産総額(A－B)	2,162,923,452
元本	2,616,075,695
次期繰越損益金	△ 453,152,243
(D) 受益権総口数	2,616,075,695口
1万口当たり基準価額(C／D)	8,268円

(注) 期首元本額は2,854,845,169円、期中追加設定元本額は684,965,311円、期中一部解約元本額は923,734,785円、1口当たり純資産額は0.8268円です。

○損益の状況 (2018年7月12日～2019年7月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	90,039,127
受取配当金	90,022,700
受取利息	19,419
支払利息	△ 2,992
(B) 有価証券売買損益	△ 266,876,503
売買益	307,544,540
売買損	△ 574,421,043
(C) 信託報酬等	△ 54,774,448
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 231,611,824
(E) 前期繰越損益金	△ 839,153,219
(F) 追加信託差損益金	617,612,800
(配当等相当額)	(2,044,946,348)
(売買損益相当額)	(△1,427,333,548)
(G) 計(D＋E＋F)	△ 453,152,243
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	△ 453,152,243
追加信託差損益金	617,612,800
(配当等相当額)	(2,044,946,348)
(売買損益相当額)	(△1,427,333,548)
分配準備積立金	77,274,888
繰越損益金	△1,148,039,931

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2018年7月12日～2019年7月11日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2018年7月12日～ 2019年7月11日
a. 配当等収益(経費控除後)	35,264,679円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,044,946,348円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	42,010,209円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	2,122,221,236円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	8,112円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限の例外的規定に関する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2018年9月28日＞